

マレーグマ「ウッチー」死亡事案に係る改善結果報告と今後の取組について

実施済項目	8月	9月	10月
(1) 法の基準に適合した適正な飼育実施体制の構築		○獣医師機能の強化① ・獣医師を1つの係に一元集約	○獣医師機能の強化② ・10月1日付で獣医師を1名増員
(2) 計画及びマニュアルの整備	○実施計画の整備 ・動物の移動、同居訓練及び麻酔を使用した治療等に関する実施計画の策定・実施 ・様式を定め、関係職員に周知徹底	○マニュアルの整備 ・既存の「飼育業務マニュアル」(最近改訂 平成22年11月)の見直し ～高齢動物や負傷動物などの取扱配慮、動物愛護管理法の遵守等を追記	
(3) 職員教育の強化		○職員研修の実施(9月14日から18日) ・動愛法や関係基準等の関係法令を理解するための研修 ・改訂マニュアル内容を理解、情報共有するための研修 ・「飼育における最善」研修 ・接遇対応研修	
(4) 施設の総点検及び改善措置の実施	○アフリカゾーンの緊急点検の実施 ・8月24日に施設点検を実施 ～18項目に改修が必要	○既存施設の点検の実施 ・9月14日から18日の5日間にわたり、既存21施設の施設点検等を実施 ～14施設30項目に改修が必要	
(5) 情報共有促進のための見直し	○定例職員ミーティングの時間の確保等 ・定例の職員ミーティングの時間をこれまで以上に確保するとともに情報共有として、朝と昼のミーティングにて申し送りを徹底	○獣医師の一元化に伴う情報共有 ・毎朝獣医師によるミーティングを実施し、昼ミーティングで結果や治療状況等を報告	

引き続き検討を行う項目(中期的課題)	9月	10月	11月	12月
(1) 組織強化のあり方に関する検討	○市民動物園会議(第25回) ～円山動物園の運営方針を審議するための附属機関～ 公募市民、学識経験者、経済界関係者、メディア関係者、地域住民の代表(計10名) ・9月30日(水)開催 ➢ 中期的課題に対する提言策定方針検討 ➢ 調査方針 等に関し決定	○他動物園に対する運営状況調査 ・約20園館 ・飼育・獣医部門の職員数、業務範囲、飼育員の募集要件、開園時間、休園日等	○市民動物園会議(第26回) ・11月中旬開催予定 ➢ 各調査結果に関する報告 ➢ 事務局作成の提言内容(素案)に関する検討	○市民動物園会議(第27回) ・12月中旬開催予定 ➢ 「中期的課題に対する提言(案)」に関する検討
(2) 人材確保・育成のあり方に関する検討		○外部アドバイザーからの意見聴取 ・仙台市八木山動物公園 副園長 阿部 敏計 氏 ・日本大学生物資源科学部 教授 村田 浩一 氏 ・京都市動物園 園長 高山 光史 氏		
(3) 開園時間又は休園日のあり方に関する検討		○市民提案の募集 ・調査結果を提示したうえで、14日間にわたり、ホームページ上で受付	○知見の提供・各種助言の附与 ・前旭山動物園長 小菅正夫氏 ((仮称) 札幌市環境局参与)	○市民動物園会議からの提言書受領 ・札幌市で検討のうえ、可能なものから順次実施